

中越流域民国連携会議「木材搬出の困ったを解決！～低コスト施工と効率化を目指す現地検討会～」を開催（令和7年10月8日）

長岡地域振興局・南魚沼地域振興局・中越森林管理署で構成される中越流域民国連携会議は、主伐期を迎えた森林が抱える搬出路の問題について考える検討会を開催しました。

当日は県や市町村、森林組合など、約50名の方にご参加いただきました。

今回の報告では、運営側からの視点も交えながら当日の模様をお伝えします。

☆関東森林管理局広報誌「関東の森から（第257号P.3）」に開催報告が掲載されています。➡ [リンクはこちら](#)



第1部では魚沼市生涯学習センター「ここいら」で、森林総合研究所の先生方による「道路改良による対策」、「構造用合板を埋設する路面補強技術」の講義が行われました。

当日の次第は別紙をご覧ください。

魚沼市生涯学習センター「ここいら」

令和7年4月にオープンしたばかりの公民館や図書館が入った複合施設です。

「ここいら」は魚沼の方言で「この辺り」という意味なのだそう。

「スノービーチ（雪国のブナ）」を使用した図書館は必見です！



始めは会場を暗くしすぎてしまいました…ロールカーテンを上げ、室内の明るさを調節しました。照明確認は次の課題です。

第2部では魚沼市、南魚沼市の木材搬出現場にて現地検討を行いました。

搬出困難と軟弱地盤の課題に対してどのような解決策が考えられるのか、講師を交え活発にディスカッションが行われました。



第2部 駐車の様子

当日は駐車係が大活躍！！誘導棒を用いた見事な手さばきが見られました。



第2部開始直後にマイクが電池切れ！！
予備電池で対応しましたが、大丈夫だ
と思っていても本番では入れ替えた方が良い
と反省。



このような検討会の運営に携わるのが初めてという職員が多く緊張していましたが、無事終了することができました。
後日、署内で行った振り返りの反省点や改善点は、次回へと生かしていきたいと思います。

令和7年10月8日(水) 開催

於：魚沼市生涯学習センター大会議室

中越流域民国連携会議（第1部）次第

(開始) 午前 10 時 00 分

1. 開 会

2. 林道等を利用した原木輸送の実態

3. 道狭い？車が大きい？どうしましょう

森林総合研究所

林業工学研究領域 森林路網研究室 山口主任研究員

4. 碎石不要!?合板ができる路面補強術

森林総合研究所

構造利用研究領域（強度特性評価担当）加藤チーム長

5. 現地検討ポイント（魚沼市折立又新田、南魚沼市大倉）

6. 閉 会